

再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担当課:道路局 環境安全・防災課

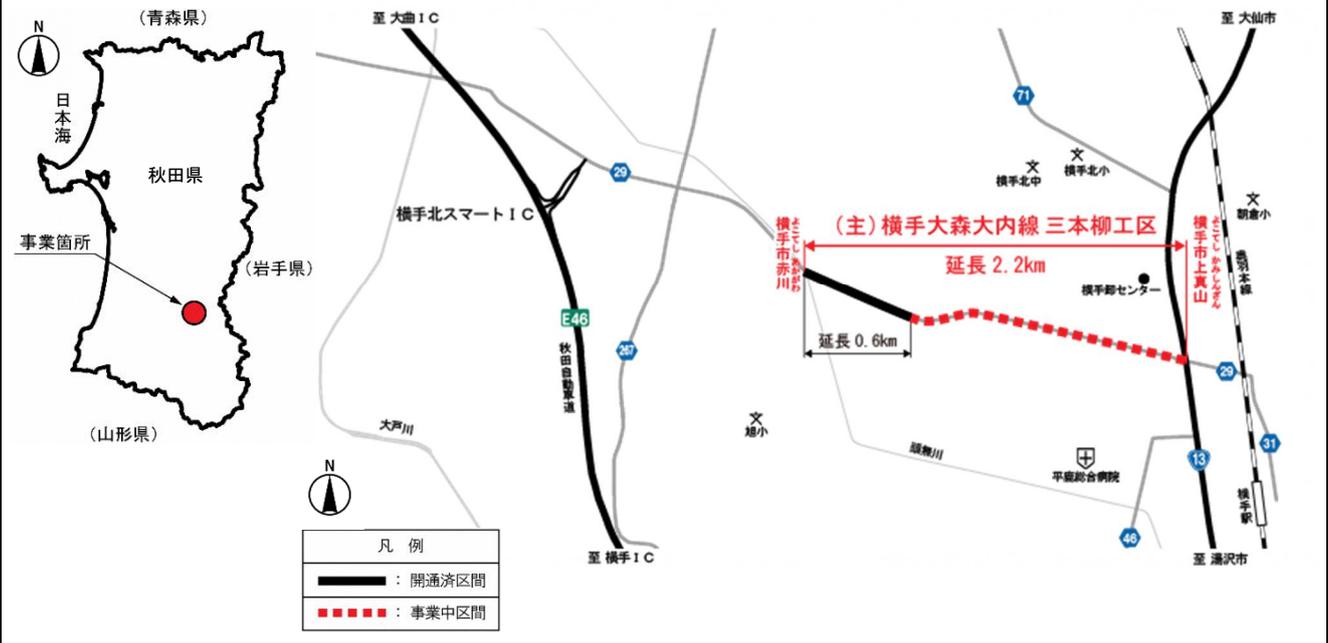
担当課長名:水野 宏治

事業名	スマートICアクセス 主要地方道 横手大森大内線 三本柳工区	事業区分	地方道	事業主体	秋田県
起終点	自:秋田県横手市上真山 至:秋田県横手市赤川			延長	2.2km
事業概要	主要地方道横手大森大内線は横手市街地において卸センターや病院、小中学校が隣接する路線であり、横手北スマートICへのアクセス機能を担うことから、渋滞緩和、地域の安全確保を目的とし国道13号～三本柳地区までの延長約2.2kmを整備するものである。				
H27年度事業化	- 年度都市計画決定 (- 年度変更)	H27度用地着手	H28年度工事着手		
全体事業費	約19億円	事業進捗率	約83%	供用済延長	0.6km
計画交通量	7,800 ~ 13,400 台/日				
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	1.5		4.5/21億円	24/32億円	
	2.3 [2%] (参考)	5.9%	事業費: 3.5/19億円	走行時間短縮便益: 25/33億円	令和6年
	2.9 [1%] (残事業)		維持管理費: 1.0/1.8億円	走行経費減少便益: -0.08/-0.43億円	
	5.4 (参考)	21.3%	更新費: -/- 億円	交通事故減少便益: -0.27/-0.28億円	
7.5 [2%] (参考)		感度分析 (事業全体)	感度分析 (残事業)		
8.2 [1%]		交通量 B/C=1.5~1.5(±10%)	交通量 B/C=4.8~6.0(±10%)		
		事業費 B/C=1.5~1.5(±10%)	事業費 B/C=5.0~5.9(±10%)		
		事業期間 B/C=1.4~1.6(±20%)	事業期間 B/C=5.0~5.6(±20%)		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ○混雑緩和 <ul style="list-style-type: none"> ・沿線には物流基地が点在し、大型交通量が多く、混雑が多発しているが、拡幅整備により混雑を緩和 ○救急医療活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・横手北スマートICへのアクセス性が向上することにより、当該道路周辺地域から三次救急医療施設である平鹿総合病院へ円滑な救急搬送が可能となる 				
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の団体から整備促進について要望あり。 横手市長 平鹿建設業協会 				
事業評価監視委員会の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続を妥当と認める。 				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年8月に横手北スマートIC供用開始 				
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得率約60%、事業進捗率約83% 				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得手続きに不測の日数を要したが、早期完了を目指し、用地買収、工事を推進していく。 				
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> ・ほ場整備との調整による兼用排水路の設置等により、総コストの縮減に努めている。 ・再生資源の積極的な活用等により、コスト縮減に努める。 				
対応方針	事業継続				

対応方針決定の理由

- ・事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)